

TANITA

取扱説明書

タニタ アルコール検知器

ALBLO アルブロ

FC-900



本書に記載されているイラストはイメージです。

お願い

誤った使いかたをしますと、重大な事故につながるおそれがあります。本書をよくお読みいただき、正しく使用してください。また、必要なときにはすぐに取り出せるよう、身近に大切に保管してください。

もくじ

本器について	ご使用の流れ…………… 3 使用目的に関する注意 …… 4 レンタルサービスの流れ …… 5 安全上の注意…………… 7 各部の名称／付属品…………… 10
準備する	電池を入れる／交換する …… 11 準備する …… 12
使いかた	測定する…………… 13 クリーニングについて …… 17 センサー寿命について …… 18 メモリーを見る／消去する …… 19
必要なとき	オプション(別売):簡易点検キット(FC-TEKT) …… 21 オプション(別売):ストローホルダー(FC-01SH)… 25 故障かな?と思ったら …… 26 仕様…………… 裏表紙

ご使用の流れ

STEP 1 電池を入れる (👉 P.11)

STEP 2 測定する (👉 P.13)

STEP 3 測定結果を見る (👉 P.15)

0.123 mg/L

STEP 2.3.5

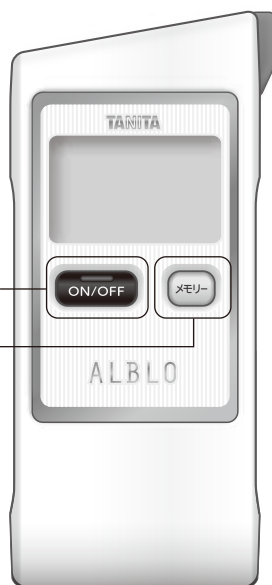
STEP 4

STEP 4 メモリーを見る (👉 P.19)

MEMO 1
0.123 mg/L

STEP 5 簡易点検 (👉 P.21)

TEST
0000



本器について

準備する

使いかた

必要なとき

使用目的に関する注意



警告



禁止

道路交通法第65条第1項には、「何人も、酒気を帯びて車両等を運転してはならない」と遵守事項が定められています。本器の測定データは飲酒の有無を判断するための一つの判断材料であって、運転の可否を判断するものではありません。測定結果に基づいて、車両の運転や機器の操作などを行って良いか否かの判断に対して、本器の製造者および販売にたずさわる関係者は一切責任を負いません。

本器について

準備する

使いかた

必要なとき

レンタルサービスの流れ



必ず守る

アルコール検知器はお客様ご自身で行う日常点検のほかに、定期点検が必要です。定期点検を行わずに使用された場合、精度の保証はいたしかねます。アルコール検知器レンタルサービスでは、この定期点検のタイミングでレンタル契約を自動更新し、交換器をお届けいたします。

契約期限が近づいた場合



**FC-900
レンタル専用窓口より
ご連絡いたします。**

必要事項を確認し、交換器の配送手順などをご説明いたします。



**契約期限が切れる前に
測定回数の上限を超えた場合**



**FC-900
レンタル専用窓口
「レンタルサービス契約更新」を
ご依頼ください。**

必要事項を確認し、交換器の配送手順などをご説明いたします。

電話:03-3558-8118

受付時間/9:00~17:00
(土・日・祝日・夏期休暇・年末年始は除く)



交換器のお届けと契約期限切れ機器のご返却

お届けした交換器をご使用ください。また、回収ご希望日までに契約期限切れ機器の返送準備を行ってください。

本器について

準備する

使いかた

必要なとき

レンタルサービスの流れ (つづき)

レンタルサービス更新のタイミング

レンタル更新日が近づきましたら、FC-900レンタル専用窓口よりレンタル更新をご案内いたします。ただし、次のような場合は、FC-900レンタル専用窓口にレンタル更新をご依頼ください。

1. 「SENSOR」が表示された場合

レンタル更新の予告

センサー使用回数が400回以上 (FC-900-05)/1600回以上 (FC-900-20)になると「**SENSOR**」が点滅します。レンタル更新される場合は、FC-900レンタル専用窓口までご連絡ください。(本書P.5 参照)



レンタル更新のお知らせ

センサー使用回数が500回以上 (FC-900-05)/2000回以上 (FC-900-20)になると「**SENSOR**」が点灯します。

※測定結果がきちんと表示された場合に、センサー使用回数として自動的にカウントされます。測定を中断したり、「**ERROR**」が出た場合はカウントされません。

※センサー使用回数が550回以上 (FC-900-05)/2200回以上 (FC-900-20)になると測定できません。「**ERROR 06**」が点滅します。

2. 使用開始から1年経過した場合

センサーの精度は、センサー使用回数に関わらず時間とともに低下しています。この場合は、「**SENSOR**」マークは表示されませんのでご注意ください。

※本器はセンサーの特性上、使用開始から1年経過、またはセンサー使用回数が500回以上 (FC-900-05)/2000回以上 (FC-900-20)になると一定の精度を保持できなくなるおそれがあります。このような場合には精度の保証はいたしかねます。

※「使用開始」とは、タニタからの商品発送日です。

安全上の注意

ご使用になる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、安全に関する重要な内容を記載しています。ここに示す内容をよくお読みいただき、本機を正しくご使用ください。

 警告	この表示の欄は「死亡または重傷※1を負うおそれのある」内容です。		
 注意	この表示の欄は「傷害※2を負うおそれまたは物的損害※3が発生するおそれのある」内容です。		
 禁止	してはいけない「禁止」内容です。	 必ず守る	「必ず守っていただく」内容です。
お願い	本器を最良の状態を保つために守っていただきたい内容です。		
お知らせ	本器の使用に関連して、お客様に知っていただきたい補足事項です。		

※1:重傷とは失明やけが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

※2:傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。

※3:物的損害とは、家屋・家財などへの拡大損害をさします。

取り扱いについて

警告



禁止

分解や改造は絶対にしない

センサーには酸性の材料が使われていますのでけがをするおそれがあります。眼に入ると失明することがあります。万が一付着した場合、直ちに付着部分を多量の水で15分以上洗い流し、医師の処置を受けてください。

注意



禁止

本器を子どもの手の届く場所に置かない

付属のマウスピースを誤飲してけがをするおそれがあります。
万が一飲み込んだ場合は直ちに医師に相談してください。

充電式の電池を使用しない

公称電圧が1.2V以下の充電式電池は、本器の動作に必要な電圧が得られないため、誤動作や故障の原因となります。必ず指定の電池(単3形アルカリ乾電池)を使用してください。

新しい電池と使用済み電池、種類の違う電池を同時に使用しない

マンガン乾電池を使用しない

液漏れや発熱、破裂のおそれがあり、本器の故障、けがなどの原因になります。

電池は火中に投じない

破裂してけがをするおそれがあります。

本体の水洗いは絶対にしない

故障するおそれがあります。

過度の衝撃や振動を与えない

故障するおそれがあります。

10℃以上の温度差がある場所に移動させた場合、2時間以上放置してから使用する
正しく測定できない場合があります。

電池を入れるときは、極性(⊕、⊖)を間違えない

液漏れなどで、床等を汚損するおそれがあります。

(長期間ご使用にならない場合は、電池を本器から取りはずしてください。)

本器について

準備する

使いかた

必要なとき

安全上の注意 (つづき)

保管について

⚠ 注 意



必ず守る

次のようなところには絶対に保管しない

故障するおそれがあります。

- ・芳香剤、たばこ、スプレー等のにおいの強いところ
- ・直射日光の当たるところ
- ・暖房器具に近いところ
- ・温度や湿度の変化が大きいところ
- ・保管温度範囲外のところ（車内などは温度が高くなり、寒冷地では温度が低くなりますので絶対に放置しないでください。）
- ・湿度が高いところ、または水のかかるようなところ
- ・湿度の低いところ
- ・ほこりが発生しやすいところ
- ・トイレ内やトイレの近くなど、アンモニアの影響があるところ

アルコール類と一緒に保管しない

センサーに悪影響を及ぼすおそれがあります。

本体にマウスピース／ストローホルダーを取りつけた状態で保管しない

においや水滴によりセンサーが故障するおそれがあります。

お手入れについて

⚠ 注 意



必ず守る

本器はお客様ご自身で行う日常点検のほかに、定期点検が必要です。

定期点検を行わずに使用された場合、精度の保証はいたしかねます。

本 体

本体の汚れは水で濡らせ固く絞ったやわらかい布で拭いてください。

清掃に熱湯や洗剤、除菌グッズ、ベンジン、シンナー等は使用しないでください。

薬品を使うとセンサーに悪影響を及ぼすおそれがあります。

マウスピース／ストローホルダー

ご使用いただく前に、マウスピース／ストローホルダーに亀裂などの異常がないか確認してください。

異常がある場合、正しく測定できないおそれがあります。

マウスピース／ストローホルダーを洗浄するときは、水洗いしてください。

熱湯や洗剤、除菌グッズ、ベンジン、シンナー、アルコールなどは使用しないでください。

薬品を使うとセンサーに悪影響を及ぼすおそれがあります。

測定について

⚠ 警 告



禁止

車両の運転や機械操作の最中に測定しない

注意散漫になり、思わぬ事故を起こすおそれがあります。

自動車等の運転中に本器を使用したことに起因する事故に対して、本器の製造者および販売にたずさわる関係者は一切の責任を負いません。

測定の際マウスピース／ストローホルダー／ストローをくわえたまま、口から息を吸い込まない
誤って吸い込むと、故障したり、けがをするおそれがあります。

唾液や水などがセンサー内部に入らないように注意する
故障するおそれがあります。



必ず守る

感染症などに注意する

マウスピースやストローホルダーは衛生的に使用し、複数の人でストローを使い回さないでください。

⚠ 注 意



必ず守る

マウスピース／ストローホルダー／ストローに強いにおいや汚れがある場合は新しいものに交換する
においや汚れが付着している場合、正しく測定できないおそれがあります。

食事、喫煙、オーラルケア用品を使用した直後に使用しない

本器は、呼気中のアルコール濃度を測定するため、お酒を飲んでいなくてもアルコール成分を含んだものやにおいの強いものを口にした後、センサーが反応することがあります。

例：たばこ、オーラルケア用品等

うがいをする、もしくは20分以上経過してから測定してください。

各部の名称／付属品

本器について

準備する

使いかた

必要なとき

表面

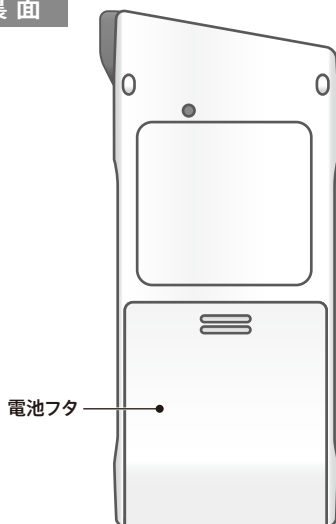


上面

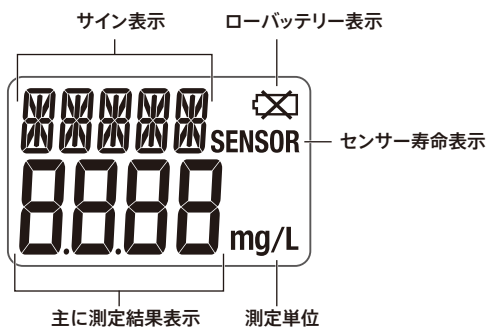


ガス取り込み口

裏面



表示部説明



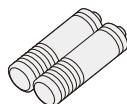
付属品

☒ 取扱説明書(本書)

☐ マウスピース×1本

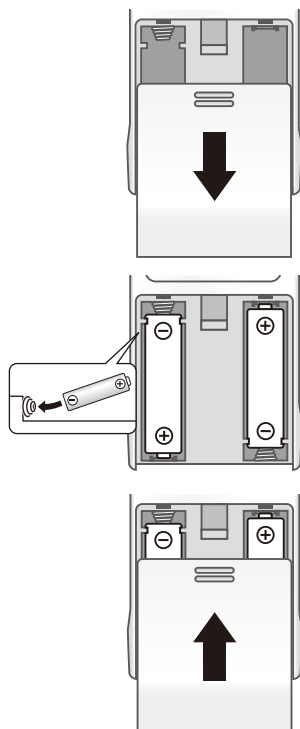


☐ お試用電池:
単3形アルカリ乾電池(LR6)×2本



※不足しているものがありましたら、弊社お客様サービス相談室にご連絡ください(本書裏表紙参照)。

電池を入れる／交換する



1 本体裏面の電池フタをスライドしてはずします。

2 電池の極性(⊕、⊖)を正しく入れてください。

3 電池フタを取りつけます。「カチッ」と音がするまで押し込んでください。

電池が消耗してくると「」が表示されます。すみやかに新しい単3形アルカリ乾電池2本と交換してください。必ず2本同時に交換してください。

お願い



禁止

充電式の電池を使用しない

公称電圧が1.2V以下の充電式電池は、本器の動作に必要な電圧が得られないため、誤動作や故障の原因となります。必ず指定の電池(単3形アルカリ乾電池)を使用してください。

新しい電池と使用済み電池、種類の違う電池を同時に使用しない

マンガン乾電池を使用しない

液漏れや発熱、破裂のおそれがあり、本器の故障、けがなどの原因になります。



必ず守る

電池を入れるときは、極性(⊕、⊖)を間違えない

液漏れなどで、床等を汚損するおそれがあります。

(長期間ご使用にならない場合は、電池を本器から取りはずしてください。)

お知らせ

- ・付属の「お試し用電池」は工場出荷時に納められたものですので、寿命が短い場合があります。
- ・使用済み電池はお住まいの市区町村の廃棄方法に従って処分してください。

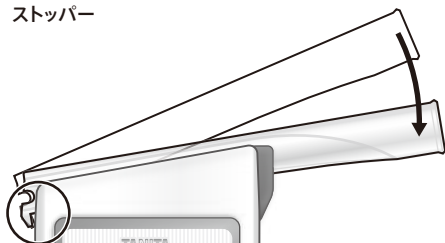
準備する

吹き出し口

吹き込み口
(口にくわえる側)



ストッパー



本体にマウスピースを取りつけます。
マウスピースには、端面にストッパーがついています。

ストッパーを左図の位置にひっかけてからはめ込むと、「カチッ」と音がして所定の位置に取りつけられます。



本体にマウスピースを取りつけた状態

お知らせ

マウスピースの吹き込み口側は、本体正面から見て左側には取りつけないでください。
ガス取り込み口が破損するおそれがあります。

本体にマウスピースを取りつけた状態で保管すると、においや水滴によりセンサー故障の原因になります。

測定が終わりましたら本体からはずしてください。

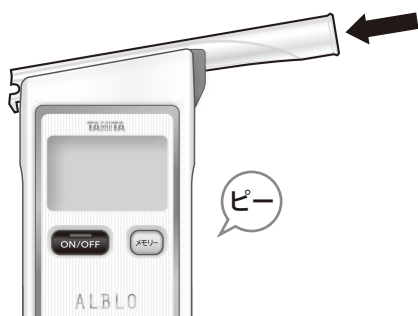
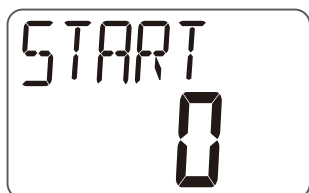
マウスピースの代わりにストローホルダー（別売）を取り付けることで、ストロー（直径6mm）を使用して測定できます（本書P.25参照）。

測定する

測定する



(例: 使用回数が200回の場合)



- 1 ON/OFFボタンを押すと電源が入り、「COUNT」と使用回数が表示されます。
※初回は「0000」が表示されます。

- 2 自動的にカウントダウンを開始します。
「5→4→3→2→1→0」

カウントダウン終了後、「START」と「0」が表示されます。

- 3 マウスピースを口にくわえて、約3秒間息を吹き込みます。

息を吹き込むと「ピー」と音が鳴ります。
ピーと音が鳴り続けている間(約3秒間)
は息を吹き込み続けてください。

測定する(つづき)

本器について

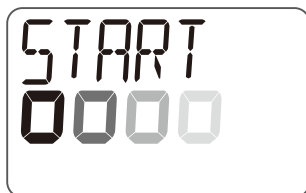
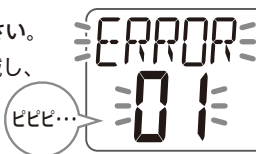
準備する

使いかた

必要なとき

お知らせ

「START」が表示されてから約10秒以内に息を吹き込んでください。
約10秒以上経ってから息を吹き込むと「ERROR 01」が点滅し、
「ピピピ…」と音がして電源が切れます。



吹き込みを検知し、「吹き込み中」「吹き込み不足」「吹き込み中断」を判定します。

「ピー」と音がしている間、息を吹き込んでください。

カチッと音がしたら吹き込みをやめ、マウスピースから口を離してください。

お知らせ

吹き込みが不足していたり、吹き込みを中断すると判定できません。
「ERROR 02」が点滅し、「ピピピ…」と音がして電源が切れます。

マウスピースの吹き出し口側を指でふさがらないでください。
正しく測定できないおそれがあります。



4 アルコール濃度を解析します。

お知らせ

連続測定したときや測定濃度により、解析時間が長くなる場合があります。

測定結果を見る

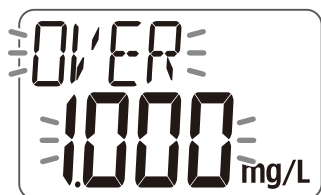
5 測定結果が表示されます。



アルコールが検知されなかった場合
「ピピ」の音とともに、「0.000」が表示されます。



アルコールが検知された場合
「ピピーピピー」の音とともに、アルコール濃度が表示されます。



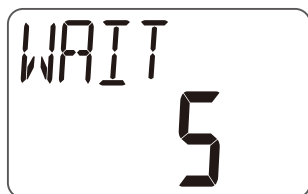
アルコール濃度が上限値を超えた場合
「ピピーピピー」の音とともに、「OVER」と「1000」が点滅します。

お知らせ

測定結果は約10秒間表示されます。測定結果表示中にON/OFFボタン、またはメモリーボタンを押すと、センサークリーニング・カウントダウンに移行します(本書P.16参照)。

測定する(つづき)

センサークリーニングを開始する



6 センサークリーニング・カウントダウンを開始します。

「5→4→3→2→1→0」

センサークリーニングが終了すると約2秒後に電源が切れます。

お知らせ

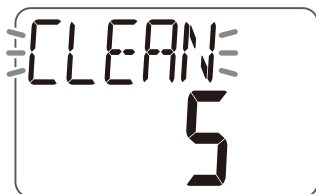
以下の条件によって、センサークリーニングの時間は異なります。

測定結果0.000mg/L～0.249mg/L:約5秒間

測定結果0.250mg/L以上:約25秒間～175秒間

クリーニングについて

以下の場合、本体、マウスピースにガスが残ることがあります。測定結果表示後「CLEAN」が点滅したら、マウスピースを外して本体を数回振り、ガスを取り除いてください。



- ・連続20回以上測定した場合
- ・高濃度測定を行った場合

お知らせ

本体やマウスピースにガスが残っていると正確に測定できません。

マウスピースを外して本体を数回振り、ガスを取り除いてください。

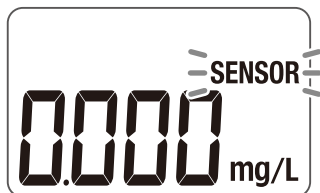
本体やマウスピースに水滴が付着している場合は水滴をふきとってください。

センサー寿命について

センサー寿命は、使用開始から1年経過した場合、またはセンサー使用回数が500回以上(FC-900-05)/2000回以上(FC-900-20)になった場合のどちらか早い方です。

測定結果が表示されると、センサー使用回数は1回カウントされます。測定を中断したり「ERROR」が表示された場合はカウントされません。

センサー寿命の予告



センサー使用回数が400回以上(FC-900-05)/1600回以上(FC-900-20)になると「SENSOR」が点滅します。

センサー寿命のお知らせ



センサー使用回数が500回以上(FC-900-05)/2000回以上(FC-900-20)になると「SENSOR」が点灯します。

お知らせ

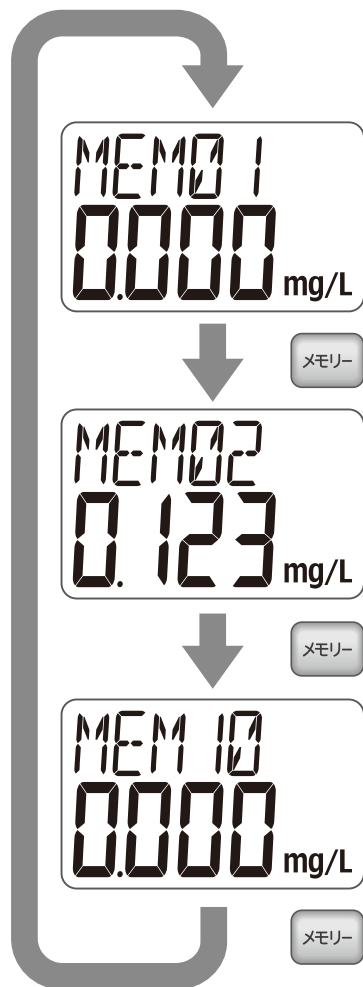
センサー使用回数が550回以上(FC-900-05)/2200回以上(FC-900-20)になると、電源を入れた直後に「ERROR 05」が約5秒間点滅して電源が切れます。レンタルサービスを更新してください(本書P.5参照)。

メモリーを見る／消去する

メモリーを見る

保存された測定結果(メモリー)の確認ができます。

- ・測定結果が表示されると自動的にメモリーとして保存します。
- ・メモリー件数は最大10件です。11回以上測定すると古いデータから消去されます。
- ・「MEMO 1」は一番新しい測定結果です。
- ・メモリーが保存されていないときは「MEMO0」が表示されます。



- 1 電源が入っていない状態で、メモリーボタンを押します。

- 2 メモリーボタンを押すと、保存されているメモリーを順番に確認することができます。

- 3 ON/OFFボタンを押すと電源が切れます。また、約1分間操作しない場合電源が切れます。

メモリーを見る／消去する (つづき)

保存されたメモリーを消去する

保存されたメモリーをすべて消去します。



- 1 電源が入っていない状態でメモリーボタンを押し、メモリーを表示させます。



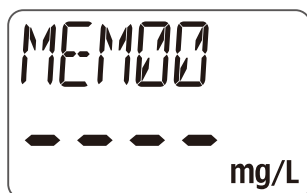
- 2 メモリーボタンを約3秒長押しすると、「ピッ」という音とともに「M--CLR」が表示されます。その後、メモリーボタンで「NO」と「YES」を切り替えます。

メモリーを消去しない場合

「NO」を選択しON/OFFボタンを押すと、メモリー表示に戻ります。
メモリーは消去されません。

メモリーを消去する場合

「YES」を選択しON/OFFボタンを押すと「ピピ」と音がしてすべてのメモリーが消去されます。



- 3 ON/OFF ボタンを押すと電源が切れます。また、約1分間操作しない場合電源が切れます。

オプション(別売):簡易点検キット(FC-TEKT)

オプション(別売)は、タニタオンラインショップ(<https://shop.tanita.co.jp/>)でご購入ください。もしくは弊社お客様サービス相談室(本書裏表紙参照)にご連絡ください。

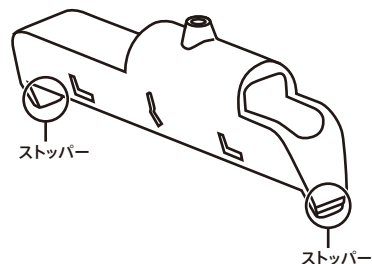
酒気を帯びて測定したにもかかわらず、測定結果でアルコールが検出されない場合には簡易点検キットを使用して簡易点検を実施してください。

お知らせ

簡易点検が1週間に1回程度であれば、簡易点検ガスは1年間は十分に使用できます。

準備する

簡易点検アタッチメント



簡易点検アタッチメントを本体に取りつけます。



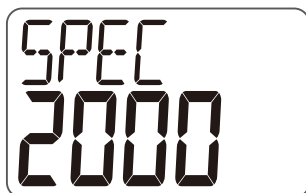
ストッパーを左図の位置にひっかけてからはめ込むと、「カチッ」と音がして所定の位置に取りつけられます。

オプション(別売):簡易点検キット(FC-TEKT)

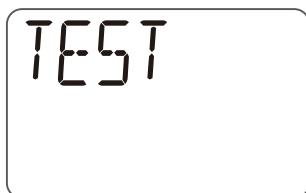
点検する

お知らせ

- ・測定して結果が表示されたあとすぐに簡易点検を行う際は、本体にガスが残っている場合があります。本体を数回振ってガスを取り除いてください。
- ・点検のときに、簡易点検ガス容器の側面は押さないでください。
高濃度ガスがセンサーにかかり、センサーの寿命に大きく影響を及ぼします。



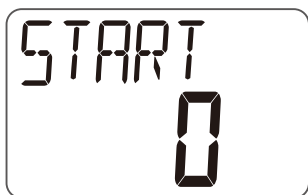
(例:FC-900-20の場合)



- 1 電源が入っていない状態で、ON/OFF ボタンを約3秒間長押しします。
「SPEC」とその機種 of センサー使用回数の上限が表示されます。

- 2 メモリーボタンを押すと「TEST」が表示され、簡易点検モードに切りかわります。

- 3 ON/OFFボタンを押すと、カウントダウンを開始します。
「5→4→3→2→1→0」



キャップを開ける



- 4 「START」が表示されたら簡易点検ガス容器のキャップを開けて、約3秒間簡易点検アタッチメントにセットします。

※約3秒したら、必ず簡易点検ガスをはずしてください。3秒以上セットすると、高濃度ガス測定になり、センサークリーニング・カウントダウンが長くなります。



- 5 簡易点検アタッチメントから簡易点検ガス容器をはずし、ON/OFF ボタンを押します。簡易点検ガスを吸い込み、解析を開始します。

お知らせ

「START」が表示されてから約10秒以内にON/OFFボタンを押してください。

「ERROR 01」が点滅表示、「ピピピ…」と音がして電源が切れます。



ピピピ…

オプション(別売):簡易点検キット(FC-TEKT)

判定結果を表示する

6 判定結果が表示されます。



センサーに異常がない場合

「ピピ」と音がして「TEST」と判定結果が表示されます。

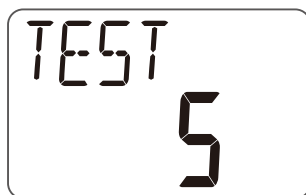


センサーに異常があった場合

「ピピーピピー」と音がして「TEST」「0.000」が表示されます。

再点検するか、弊社お客様サービス相談室にご連絡ください(本書裏表紙参照)。

センサークリーニングを開始する



7 センサークリーニング・カウントダウンを開始します。

センサークリーニングが終了すると電源が切れます。

※センサークリーニング中は測定できません。

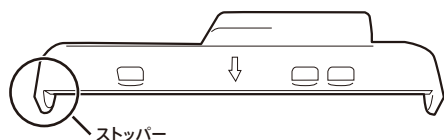
お知らせ

- ・簡易点検を行うとセンサー使用回数が1回カウントされます。
- ・判定結果は約10秒間表示されます。判定結果表示中にON/OFFボタン、またはメモリーボタンを押すと、「センサークリーニング」に移行します。
- ・以下の条件によって、センサークリーニング・カウントダウンの秒数は異なります。
測定結果0.000mg/L～0.249mg/L:約5秒間
測定結果0.250mg/L以上:約25秒間～175秒間
- ・再点検する場合は、簡易点検ガス容器を手のひらで軽く温めてください。再点検しても「0.000」が表示される場合は弊社お客様サービス相談室にご連絡ください(本書裏表紙参照)。

オプション(別売):ストローホルダー(FC-01SH)

オプション(別売)は、タニタオンラインショップ(<https://shop.tanita.co.jp/>)でご購入ください。もしくは弊社お客様サービス相談室(本書裏表紙参照)にご連絡ください。

マウスピースの代わりにストローホルダーを取り付けることで、ストロー(直径6mm)を使用して測定できます。ストローは付属しておりませんので別途ご準備いただき、適宜カットしてご使用ください。



本体にストローホルダーを取りつけます。ストローホルダーには、端面にストッパーがついています。



ストッパーを左図の位置にひっかけてからはめ込むと、「カチッ」と音がして所定の位置に取りつけられます。

「測定する」の手順にしたがって測定してください。(本書P.13参照)

お知らせ

- ・ストローホルダーを使用して連続測定すると水滴がセンサー内部に入り、故障するおそれがあります。連続測定を行うときは、ストローホルダーを交換してください。
- ・ストローを使用して測定したときの結果は参考値としてご確認ください。

本器について

準備する

使いかた

必要となるとき

故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったら、修理を依頼される前に、次のことをご確認ください。

現 象	ご確認ください
測定結果が 高めに出る	口の中にアルコール成分が残っていませんか? ▶うがいをして再度測定してください。 食事、喫煙、オーラルケア用品を使用した直後に測定していませんか? ▶うがいをする、もしくは20分以上経過してから測定してください。 本体に強いにおいがしみついていませんか? ▶本体を数回振ってにおいを取り除いてください。 においがある場所で測定していませんか? ▶場所を変えて測定してください。 マウスピースににおいがしみついていませんか? ▶マウスピースを水洗いし、よく乾かしてから再度測定してください。 または新品と交換してください。
測定結果が 低めに出る	約3秒間、きちんと息を吹き込みましたか? ▶息を吹き込む時は、約3秒間しっかりと吹き込んでください。 マウスピースが所定の場所にセットされていますか? ▶マウスピースをもう一度所定の場所にセットしてから測定してください。 風のある場所で測定していませんか? ▶場所を変えて測定してください。
測定結果が 一致しない	風のある場所で測定していませんか? ▶場所を変えて測定してください。 においがある場所で測定していませんか? ▶場所を変えて測定してください。 口の中にアルコール成分が残っていませんか? ▶うがいをして再度測定してください。 食事、喫煙、オーラルケア用品を使用した直後に測定していませんか? ▶うがいをする、もしくは20分以上経過してから測定してください。
飲酒していないのに アルコール濃度の数 値が表示される	食事、喫煙、オーラルケア用品を使用した直後に測定していませんか? ▶うがいをする、もしくは20分以上経過してから測定してください。 においがある場所で測定していませんか? ▶場所を変えて測定してください。 本体やマウスピースの内部にお酒のにおいが溜まっていませんか? ▶本体やマウスピースを数回振ってにおいを取り除いてください。 ▶マウスピースをきれいに水洗いし、よく乾かしてから測定してください。 簡易点検キットの簡易点検ガス(オプション)や除菌グッズ、オーラルケア用品等、アルコール成分を含んだものと本体を密閉された状態の中で保管していませんか? ▶アルコール成分が含まれているものと本体と一緒に保管しないでください。数値が出なくなるまでに数時間～1週間かかる場合があります。

現 象	ご確認ください
ON/OFFボタンを押して何も表示されない。または表示が全点灯してすぐに消える。	電池が消耗していませんか？ ▶新しい電池と交換してください。 電池が逆に入っていませんか？ ▶電池を正しく取りつけてください。 電池の電極にゴミがついていませんか？ ▶電極のゴミを取り除いてください。
	「START」が表示されてから10秒以内に息を吹き込みましたか？ ▶「START」が表示されてから10秒以内に息を吹き込んでください。 ※ON/OFFボタン、またはメモリーボタンを押すとブザー音が止まります。
	吹き込みが不足していたり、吹き込みを中断していませんか？ ▶約3秒間息を吹き込んでください。 ※ON/OFFボタン、またはメモリーボタンを押すとブザー音が止まります。
	センサー使用回数が550回以上(FC-900-05)/2200回以上(FC-900-20)になっていませんか？ ▶FC-900レンタル専用窓口にお問い合わせください。 ※「ERROR 06」が約5秒間点滅して電源が切れます。 ※「レンタルサービスの流れ」を参照してください(本書P.5参照)。 ※ON/OFFボタン、またはメモリーボタンを押すとブザー音が止まります。
  	システムエラーです。 ▶電池を入れなおしてください。 電池を入れなおしても症状が改善しない場合は故障のおそれがありますので、タニタサービスセンターにお問い合わせください(本書裏表紙参照)。 ※ON/OFFボタン、またはメモリーボタンを押すとブザー音が止まります。

仕 様

本器について

準備する

使いかた

必要なとき

検 知 方 式	燃料電池センサー
セ ン サ ー 寿 命	使用開始から1年経過、または500回以上 (FC-900-05)/ 2000回以上 (FC-900-20)になった場合 (どちらか早い方)
呼気中アルコール 濃 度 測 定 範 囲	0.000～1.000mg/L 0.001mg/L単位 (0.050mg/L未満は0.000mg/L表示)
メ モ リ ー	10件
電 源	3V DC 単3形アルカリ乾電池 (LR6) × 2本
使用温湿度範囲	5～35℃、30～80% (結露なきこと)
保管温湿度範囲	0～40℃、10～90% (結露なきこと)
寸 法	約幅61×高さ134×奥行25mm
質 量	約103g (乾電池、マウスピース含まず)
主 な 材 質	ABS、PMMA、PP (マウスピース)
生 産 国	中国
付 属 品	取扱説明書、 マウスピース×1本、 お試用電池: 単3形アルカリ乾電池 (LR6) × 2本

※デザインおよび仕様は予告なく変更する場合があります。

※本器はレンタル品ですので、ご契約終了後はタニタサービスセンターにご返却ください。

株式会社 **TANITA**

本社・お客様サービス相談室・FC-900レンタル専用窓口 〒174-8630 東京都板橋区前野町1-14-2
タニタサービスセンター 〒014-0113 秋田県大仙市堀見内字下田茂木添28-1

ホームページアドレス

<https://www.tanita.co.jp/>

レンタル
サービス

FC-900レンタル専用窓口

03-3558-8118

受付時間/9:00～17:00(土・日・祝日・夏期休暇・年末年始は除く)

修 理

タニタサービスセンター

0187-66-2168

受付時間/8:00～17:00(土・日・祝日・夏季休暇・年末年始は除く)

お問い
合わせ先

フリー
ダイヤル

0120-133821

携帯電話からはフリーダイヤルにつながりません。
携帯電話からのお問い合わせはナビダイヤルをご利用ください。

ナビ
ダイヤル

0570-783551

通話料はお客様負担となりますのでご了承ください。

受付時間/9:00～17:00(土・日・祝日・夏期休暇・年末年始は除く)